

京都市多文化施策懇話会

ニュースレター No.14



編集：京都市多文化施策懇話会事務局（京都市総合企画局国際化推進室）

2014（平成26）年10月発行

新たな委員による懇話会がスタート

2014（平成26）年4月1日付で新たに12名の委員が委嘱され、第3期の「京都市多文化施策懇話会」がスタートしました。2016（平成28）年3月31日までの2年間の任期のなかで、「地域に根ざした多文化共生のまちづくり」をテーマに議論を重ねていきます。

座長につきましては、第1回会議において、西岡正子委員が再度選出されました。



2014（平成26）年度第1回会議について

<日時> 2014（平成26）年6月17日（火）午前10時00分～12時00分まで

<場所> 京都市役所E会議室

<議題> 「京都市多文化施策懇話会の概要」について

「京都市国際化推進プラン～多文化が息づくまちを目指して～改訂版」について

今年度の会議の進め方について

京都市多文化施策懇話会第3期委員（敬称略）

氏名	職名
安藤いづみ	（一財）京都YWCA理事
西岡正子 ※ 座長	京都市男女共同参画センター館長 佛教大学教育学部教授
浜田麻里	京都教育大学教授 （公財）京都市国際交流協会理事
水野篤夫	（公財）京都市ユースサービス協会事業部長（常任理事）
山内 清	京都市国際交流協会館長 （公財）京都市国際交流協会専務理事

氏名	国籍又は 背景となる国
オダン・シルビー	【フランス】
木之本マリル	【フィリピン】
金正泰	【韓国】
蔡龍日	【中国】
タカノ・ヴィオレッタ・ミサキ	【ブラジル】
辻早苗	【日本】
三保俊幸	【日本】

指名委員は学識経験者等から市長が適当と認めた者を委嘱、公募委員は市民からの公募により選出



第3期委員の紹介

にしおか ぎょう 西岡座長

佛教大学教育学部で教鞭を取っており、専門は比較教育学、成人教育学、生涯学習です。小学校をはじめとした、地域での国際交流について、学生と共に取り組んでいます。今までに交換研究員や客員教授として、カナダやアメリカに滞在し、多文化の中で子育てをはじめとする様々な体験をしてきました。

あんどう いん 安藤委員

京都YWCA・APT(※アプト: Asian People Together)で活動しています。APTでは、アジアの方に限らず様々な国の方に対し、多言語で相談や支援活動を行っています。支援活動をとおり、多文化共生教育の必要性を感じ、幼稚園・小学校・中学校・高校で多文化理解を進めるための教育活動も行っています。

はまた いん 浜田委員

学生と共に「帰国渡日児童生徒とつながる会」として、京都市内在住で外国に文化的背景がある子ども達同士の交流活動を進めています。また、「京都フィリピン人コミュニティPAG-ASA(※パグアサ: タガログ語で「希望」という意味)」との交流も、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンで行っています。そして、京都市内の学校で日本語教室を行っている先生方との勉強会を行っているほか、京都府外国籍府民共生施策懇談会の委員を2008(平成20)年設立当初から務めています。府と市の多文化共生に携わることになり、今後は両方の懸け橋になることができれば良いと思っています。

みずの いん 水野委員

京都市伏見青少年活動センターでは、多文化共生を事業の柱として、様々な取組を行っています。例えば、「サラダボウルProject」として、様々な文化背景を持った若者が互いを理解しあえることを目指したプログラムを実施しています。また、日本語が苦手な方に対し、若者がボランティアで日本語を教える場など、地域で日本語を学ぶことができる仕組み作りを行っています。このような取組や運営などの経験を元に、会議に関わりたいと思っています。

やまうち いん 山内委員

京都市国際交流会館は今年で開館25年を迎え、京都市の国際交流・多文化共生施策を進めるために設けた専門の施設です。職員及び多くのボランティアの方により様々な事業を行っています。



いん オダン委員

フランスでは書道と合気道と太極拳を学んでいました。5年前に来日し、現在は書道作品をつくり、京都市美術館で展覧会を開催したりしています。また、町家で書道教室を開き、日本人と外国人の生徒がおり、国際的な教室になっています。

木之本委員

来日し20数年です。2011（平成23）年から2013（平成25）年までは「京都フィリピン人コミュニティPAG-ASA（パグアサ）」の秘書をしていました。現在は仕事で空いた時間に通訳ボランティアを京都YWCA・APTやパグアサのユースグループで行っています。また、京都市教育委員会のタガログ語通訳ボランティアを、市内のいくつかの小学校で行っています。現在、仕事をしながら娘の学校の事務などを行っていますが、日本語は難しく大変です。しかし、少しでも他のフィリピン人のお母さんの為になると思い、通訳ボランティアをしています。先日、引っ越しの際、区役所の方に手伝ってもらいながら住所変更の手続きを行いました。とても大変でした。区役所で受け取る書類の中身が難しく、わからないことが多いので、英語や他の言語で内容の説明をしてもらうことができれば助かります。

金委員

日本生まれ、日本育ちの在日コリアンです。大阪にある国際学校の教頭をしています。学校には、在日コリアン、地域の日本人、韓国からの留学生がおり、教師も国籍が多様です。日々痛感することは、多文化共生という言葉は立場によって受け取り方が違うということと、また、それぞれの立場により、直面している問題も違うということです。

また、NPO法人GLOBALNETで活動をしています。ロシア・中国・日本・韓国の4箇国の小学生の交流キャンプを開催し、今年で10周年を迎えました。この活動は元々コリアンの交流キャンプとして始めましたが、東アジアの平和を目標に掲げて活動しており、コリアンだけではなくロシア人、中国人、日本人も一緒に交流を行うものへと発展しました。

蔡委員

您好（ニイハオ）。1989（昭和64）年に中国から来日し、1996（平成8）年から京都で暮らし、2000（平成12）年に現在の会社を設立しました。当初は、主に留学生が来日してから卒業するまでをサポートをする活動でしたが、翻訳や就職支援を行うようになり、現在は就職支援が主な業務です。近年、日本語学校も設立しました。私には日本で生まれ育った息子がいますが、中国語ができず、家では毎日、国際交流をしているようなものです。今回、懇話会に参加し、中国人だけではなく、他の国の方々がどのように生活されているのかについても、学びたいです。また、京都が、外国人にとってどのような環境であることが望ましいかを考え、外国人が住みやすい環境作りに協力したい、と思います。

タカノ委員

ボンジア（ポルトガル語：こんにちは）。私はブラジル・アマゾン出身の日系2世です。1996（平成8）年に留学生として来日しました。現在は、通訳・翻訳・語学講師の仕事などを行っています。また、京都府名誉友好大使や京都市国際文化市民交流促進サポーターとして、主に京都府内の小中学校でブラジルの文化紹介を行う活動をしています。さらに、地域において自治会の事務局長の活動もしています。なお、今年3月には、京都市国際交流会館でブラジル展を企画開催しました。今後もブラジルのことを紹介する情報発信を行いたいと考えています。

辻委員

伏見区向島の福祉施設で働いており、多文化共生に関する活動として3点行っています。1点目は、外国に文化的背景がある職員を施設で積極的に受け入れており、現在、タイ・インド・中国・韓国の方と共に働いていることです。2点目は、様々な国の職員が自国の食べ物や文化紹介を地域向けに行うフェスティバルの開催です。3点目はNGO団体の取組です。年に1、2回、日本の学生をアジアへ連れて行き、本やインターネットだけではなく、実際に顔と顔を合わせる機会として、現地の方との交流を行っています。

三保委員

市民公募委員に応募した理由は2つあります。1つ目は、昨年JICAボランティアでカンボジアに赴任し、そこで感じた経験からです。実際に外国人としてカンボジアに滞在し、不便さとともに居心地の良さを感じました。京都で暮らしている外国籍の方が不便をどう乗り越えているのか、またそういった方々をどのようにサポートできるのかについて考えていきたいです。2つ目は、京都市にある資源の活用です。外国籍の優秀な方を活用できないか、などについて、色々と勉強し、また皆様から教えていただきながら、外国籍の方と大学との繋がりについて考え、活動したいと思います。

「京都市国際化推進プラン～多文化が息づくまちを目指して～」

国内外の人々との交流を深め、世界の中の京都として発展することを目指すなど、市の国際化を推進するために、2008（平成20）年度からの10年間で取り組む施策をまとめた「京都市国際化推進プラン」について、策定後の社会状況の変化などを踏まえ、内容を見直し、充実を図りました。

※ 詳細は、市役所案内所、区役所・支所などで配布している冊子や、ホームページで紹介

<http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000164035.html>

○目標と主な取組

<世界がとぎめくまち・京都>

- ・119番通報時の多言語通訳など、海外からの観光客や外国籍市民などへの安心・安全の確保
- ・海外の研究者や企業人、芸術家などの受入環境の整備

<世界とつながるまち・京都>

- ・短期留学の受け入れなど、留学生誘致の強化
- ・地域交流事業での留学生と市民との交流推進

<多文化が息づくまち・京都>

- ・防災・危機管理情報を外国籍市民などに確実に届けるための仕組みの構築
- ・就職ガイダンスの開催など留学生に対する就職支援の充実
- ・外国籍市民などと地域をつなぎ、地域での多文化共生を促進する人材の育成・活用
- ・就学前の多文化共生教育の推進

4箇国語版 防火防災パンフレットを作成しました

火災や地震への備えについて、日本にお住いの外国人の方のために、4箇国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、日本語）で書かれたものです。地震からどのように身を守るか、緊急時に消防車や救急車をどのように呼ぶかなどを知ることができます。

※京都市消防局のホームページにもアップされています。

<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000079443.html>



事務局からのお知らせ

本ニュースレターや懇話会に関する御意見などがございましたら、下記までお寄せください。

（懇話会の会議はどなたでも傍聴することができます。）

また、懇話会ニュースレターのバックナンバーや英語版を御希望の方は、下記までお問い合わせください。

京都市多文化施策懇話会事務局

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地 京都市総合企画局国際化推進室

TEL: 075-222-3072 FAX: 075-222-3055 Eメール: kokusai@city.kyoto.jp

ホームページ: <http://www.city.kyoto.lg.jp/somu/kokusai/>



発行：京都市総合企画局国際化推進室
京都市印刷物第264522号